



## 有限会社 柳川観光バス

海外からの観光客増加にも対応  
良質なサービス提供を目指す



- 1 本社社屋。1階は車庫で2階が事務所
- 2 福祉タクシー「かぜ」。ストレッチャーや車いすごと乗車できるリフトを装備
- 3 社員教育や健康管理を徹底し、良質なサービスを提供していきたいと話す近藤社長



今回紹介する企業は、貸し切りバスの運行業を行う有限会社柳川観光バスです。

創業は平成13年とまだ若い企業ですが、大型や中型、マイクロバスなど30台を保有し、県内でも有数のバス会社に成長しています。鹿児島県出身の近藤勉社長（64歳）はもともと料理人。柳川の和食店で板前をしていたとき、妻で同社専務の近藤早百合さんと知り合い27歳で結婚。早百合さんの父がレンタカー事業

### 【企業情報】

- 本社所在地＝東蒲池 189-10  
☎ 73・5151
- 資本金＝300万円
- 代表取締役社長＝近藤 勉
- 従業員＝31人



をしていたので、和食店を辞め、義父の仕事を手伝うようになりまます。40歳のころ、久留米の観光バス会社で5年間、バス事業のノウハウを学び、46歳で独立。資金繰りが厳しい時期もありましたが、冠婚葬祭時の送迎や会社の社員旅行など地元密着型で地域から信頼を得ながら、徐々に事業を拡大していきます。

平成20年に佐賀営業所を開設。現在は、佐賀県内の多くの学校が、修学旅行や社会科見学、部活動の遠征などに同社を利用していているそうです。

近年は日本への海外観光客が増加の傾向にあります。この波に乗り、海外観光客獲得のため、同社の社員が直接韓国や台湾の旅行会社に出向き営業をかけることもあり、その成果が少しずつ表れているとのこと。これに対応できるように、バス車両も増やしています。地域に高齢者が増えている

ことから、県内に数台しかないというリフト付き大型バスの導入や、昨年から福祉タクシー「かぜ」の営業も開始。同タクシーは多くの要望があり、「今後は車両や運転手も増やしていきたい」と近藤社長は話します。

同社は日本バス協会が貸切バス事業者の安全に関する取り組みを評価するセーフティマークの「二ツ星」を取得。今後は「二ツ星」の取得を目指し、良質なサービス提供に力を入れていきます。

### ●社長のひとこと

早朝5時からの「点呼」、運転手からの定期的な業務報告など、24時間体制でチェックし、無理な運転がないか、運転手の健康管理に特に気を配り、良質なサービス提供につなげていきます。

【問】市商工・ブランド振興課 商工・企業誘致推進係 ☎ 77・8762